



## マスターラインマンより

### 仲間はずれを 作らない



東葛送電(株) 橋本政二

ラインマンの皆さん、毎日の作業お疲れ様です。この仕事に就いてはや26年が過ぎました。大型工事よりも市街地の短期工事を渡り歩くことが多く、刻々と変わる現場状況に追われて、振り返る間もなく過ぎ去り「辛い」だの「辞めよう」だの思う暇もなかったような気がします。無事こなしてこられたのはひとえに良い仲間恵まれたおかげと感謝しています。

私が常々気をつけているのは「仲間はずれを作らない」ということです。一緒に仕事する仲間は多種多様。手の早い人遅い人、気が早くて先走る人、じっくり型の人等々。大勢の仲間と手を携えることで困難な工事も乗り切ってきました。

ただ往々にして「あいつはいつもそうなんだ」との思い込みで、ついつい声をかけずに流してしまふことがあります。また、それが「和のとぎれ」を生み、トラブルや怪我に繋がります。人間ですからチーム全員への目配り気配りは困難です。小グループのキャップに頼らざるを得ないのですが、キャップが自分と同じ思い込みをしていたらと、ふっと背筋が寒くなることがあります。

送電線工事に携わる大切な仲間、これからを担ってくれる若い衆、手を携えて送電線をめいっばい背負っていきたいと思っています。